



## 三菱パイプ用ファン

〔居室・トイレ・洗面所用〕

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08P7	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	—
V-08PLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08PX7	インテリアパネル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PXD7	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PXD7-BE	インテリアパネル	ベージュ	速結端子	—
V-08PM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PC7	丸形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PFLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●
V-08KLD3	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XLD3	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08KPL3	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	●(本体電源スイッチ付)
V-08KPLD3	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XPLD3	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XPLD3-BE	インテリアパネル	ベージュ	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08PPX7	インテリアパネル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PPXD7	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PPXD7-AF	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	—

〔居室・トイレ・洗面所・店舗・事務所用〕

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08PWBD3	ブラケットパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PWXD3	着せ替えインテリアパネル	シルバー・ホワイト(出荷時)	速結端子	—

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08PP7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	—
V-08PPM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPC7	丸形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPFL7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	●
V-08PPD7-AF	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	—

形名によって取扱いが異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。  
形名表示位置は「3. 各部のなまえ」を参照ください。

## 取扱説明書

お客様用

**お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)**

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 1. 安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	<p>〔浴室用タイプ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。</li> <li>●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品に直接水やお湯、かび取りなどをかけない ショート・感電の原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流 100 V を使用する 火災・感電の原因。</li> <li>●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〔異常・故障例〕 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。</li> <li>●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 発煙・発火の原因。</li> <li>●がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む 感電・けがの原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。</li> </ul>

## 注意

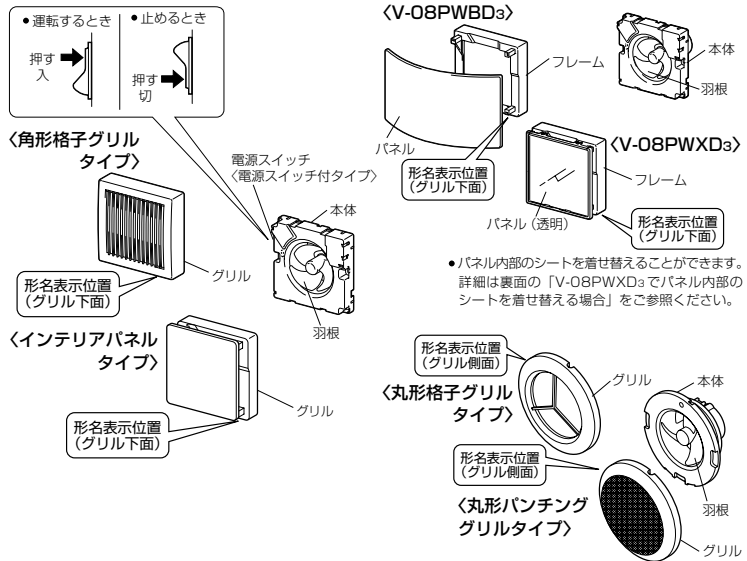
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> <li>●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない 火災の原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。</li> <li>●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。</li> <li>●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。</li> <li>●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートの原因。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</li> </ul>

## 2. ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)

## 3. 各部のなまえ



## 4. 使用方法

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

### 24時間換気機能付タイプ

- 24時間換気用としてご使用するときは、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き電源スイッチは「入」でご使用ください。(V-08PFLD7、V-08PPFL7以外の24時間換気機能付機種は本体に電源スイッチがあります)
- V-08PFLD7、V-08PPFL7の「弱」運転で羽根が回らない場合は、一旦「強」運転した後、「弱」運転に切り換えてください。

### 浴室用タイプメモ

- 冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- 入浴時以外は浴槽にフタをしてください。(換気扇のいたみを少なくします)
- 給気口があるか確認してください。(効果的な換気を行うために必要です)

### 浴室用タイプの上手な使いかた

- 入浴後、湯を抜くか、浴槽にフタをして3時間以上換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。

# 5. お手入れ

グリル（フレーム、パネル）、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。

●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください）をお願いします。

**警告**

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る感電・けがの原因。

**注意**

お手入れの際は手袋を着用する着用しないといけない原因。

**お願い**

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。（異常音発生の原因）

**浴室用タイプ**

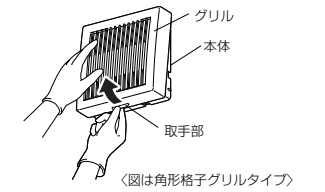
**警告**

モーター軸の樹脂製カバー（白色）は絶対に抜いたり、傷付けたりしないでください（感電・けがの原因）

**1. 清掃部品のはずしかた**

グリル（フレーム）の取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはまず。

●本体からグリル（フレーム）をはずす際、グリル正面（パネル）を支えながらはずしてください。（落下によるけがの原因）



＜V-08PWBD3の場合＞

**縦据付けの場合**

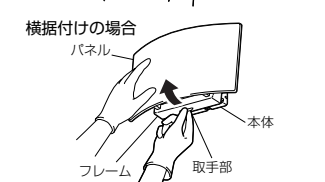
パネル前面を支えながらフレームの両側面に指を掛け、手前に引きながら斜めに持ち上げてはまず。



**横据付けの場合**

フレームの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはまず。

●本体からフレームをはずす際、パネルを支えながらはずしてください。（落下によるけがの原因）



**2. 清掃のしかた**

1. グリル（フレーム、パネル）は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

**3. お手入れ後の清掃部品の据付け**

1. 据付けは取りはずすと逆の順序で行う。
2. 据付け後、次の確認をする。
  - (1) グリル（フレーム、パネル）が確実に据付けられていますか。
  - (2) 異常な音が出ていませんか。（必ず運転をして確認してください）

# 6. 修理を依頼される前に

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか 分電盤のブレーカーが切れていませんか 本体電源スイッチが「切」になっていませんか	差し込みます 「入」にします 本体電源スイッチを「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリル（フレーム、パネル）が確実に据付けられていますか 羽根・グリル（フレーム、パネル）にほこり・異物が付着していませんか エアフロー環気システムでV-08PP(X)D7-AFタイプ以外が設置されていませんか	据付け直します 清掃します 販売店または工事店へご相談ください
羽根が逆回転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
エアフロー環気システムでモーターの回転が安定していない（V-08PP(X)D7-AF）	モーターの回転をコントロールしているためです	異常ではありませんそのままお使いください
焦げ臭いにおいがする	故障です運転を停止してください	販売店または工事店へ連絡します

●モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

# 7. アフターサービス

MITSUBISHI 三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

**取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へ**

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて  
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。  
1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理、保守、工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報、本目的ならびに製品品質、サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。  
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。  
3. あらかじめお客様からご希望をいただいている場合および下記の情報を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。  
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社など業務委託する場合。  
② 法令等のある規定に基づく場合。  
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいたしました窓口にご連絡ください。

**ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱方法** 受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター  
0120-726-471（無料）  
携帯電話・PHS・IP電話対応  
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659(有料)

■ご相談対応 平日 9:00~12:00 13:00~19:00（土・日・祝及び弊社休日以外）  
■上記時間以外のご相談（受付のみ）  
0120-139-365（無料）  
三菱電機お客さま相談センター

**修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼** 受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター  
0120-56-8634（無料）  
www.melsc.co.jp  
空メールの送り方: fc8634@melsc.jp  
またはバーコードからアクセス。URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合  
東日本修理受付センター FAX (03) 3424-1115 (有料) (03) 3424-1111 (有料)  
西日本修理受付センター FAX (06) 6454-3900 (有料) (06) 6454-3901 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。  
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

■補修用性能部品の保有期間  
当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# 8. 仕様

(電圧 100V)

形名	消費電力 (W)	風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)		
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz			
V-08P7	1.7	2	75	85	19	22	0.46	
V-08PD7	1.7	2	75	85	19	22	0.45	
V-08PLD7	1.7	2	75	85	19	22	0.46	
V-08PX7	1.7	2	75	85	19.5	23	0.56	
V-08PXD7	1.7	2	75	85	19.5	23	0.54	
V-08PXD7-BE	1.7	2	75	85	19.5	23	0.54	
V-08PM7	1.8	2.2	75	85	18	21	0.42	
V-08PC7	1.8	2.2	80	90	18	21	0.42	
V-08PFLD7	強	1.7	2	75	85	19	22	0.48
	24時間換気(弱)	1.2	1.2	59	59	16	16	
V-08KLD3	1.4	1.5	36	40	19	22	0.52	
V-08XLD3	1.4	1.5	36	40	19	22	0.54	
V-08KPL3	2.1	2.4	48	53	25	29	0.54	
V-08KPLD3	2.1	2.4	48	53	25	29	0.52	
V-08XPLD3	2.1	2.4	48	53	25	29	0.54	
V-08XPLD3-BE	2.1	2.4	48	53	25	29	0.54	
V-08PPX7	3.8	4.5	100	120	27.5	31.5	0.6	
V-08PPXD7	3.8	4.5	100	120	27.5	31.5	0.58	
V-08PPXD7-AF	2.5	3.1	85	95	25.5	28.5	0.58	
V-08PWBD3	2	2.3	75	85	22	25	0.55	
V-08PWXD3	2	2.3	75	85	22.5	25.5	0.61	
V-08PP7	3.9	4.7	100	120	27.5	31.5	0.54	
V-08PPD7	3.9	4.7	100	120	27.5	31.5	0.49	
V-08PPM7	3.7	4.5	95	115	26.5	30.5	0.5	
V-08PPC7	3.7	4.5	100	120	25	30	0.5	
V-08PPFL7	強	3.9	4.7	100	120	27.5	31.5	0.57
	24時間換気(弱)	1.3	1.5	70	70	19	19	
V-08PPD7-AF	2.5	3.1	85	95	25.5	28.5	0.49	

\*特性は JIS C 9603 に基づく開放時の値です。

**長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について**

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります  
【設計上の標準使用期間】15年  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

電圧	単相 100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
湿度	20℃	JIS C 9603 から引用
湿度	65%	
設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件	定格負荷	「B.仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	
換気時間	2410時間/年	
消費電力	2193W/年	
エネルギー	2614kWh/年	
消費電費	157円/年	

注) 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

**愛情点検** ☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか？

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- ご臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に必要な費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ  
お買上げ店名 (住所) (電話番号)  
お買上げ年月日 年 月 日

この製品には地球環境保護の一環として再生紙が使用されているため、プラスチック部品に材質名を表示しています。（材質名は主材料にISO）規定の略号を使用。

# MITSUBISHI

## 三菱パイプ用ファン

(居室・トイレ・洗面所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08P7	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PD7	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-08PLD7	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08PX7	インテリアパネル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PXD7	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—
V-08PXD7-BE	インテリアパネル	ベージュ	連結端子	—
V-08PM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PC7	丸形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PFLD7	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●
V-08KLD3	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XLD3	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08KPL3	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	●(本体電源スイッチ付)
V-08KPLD3	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XPLD3	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XPLD3-BE	インテリアパネル	ベージュ	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08PPX7	インテリアパネル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PPXD7	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—
V-08PPXD7-AF	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—

(居室・トイレ・洗面所・店舗・事務所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08PWBD3	ブラケットパネル	ホワイト	連結端子	—
V-08PWXD3	着せ替えインテリアパネル	シルバー・ホワイト (出荷時)	連結端子	—

(浴室・トイレ・洗面所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08PP7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPD7	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-08PPM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPC7	丸形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPFL7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	●
V-08PPD7-AF	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—

## 据付説明書

## 販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- V-08PFLD7、V-08PPFL7と24時間換気機能を備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要で、※V-08PFLD7、V-08PPFL7のコントロールスイッチはP-04SWL(B)5を推奨します。上記コントロールスイッチをご使用にならない場合は、容易に停止されない工夫が必要です。
- 【例】
  - 常時運転すべきことを指示する注意書きの貼付けのあるもの。
  - 切りボタン(OFFスイッチ)にカバーを設けた構造のもの。
  - 長押しでOFFとなる構造のもの。
  - 専用ブレーカーを設ける。
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管(VU、VP(呼び径100mm))または銅板管(内径100mm)のいずれかをご用意ください。

## 1. 安全のために必ず守ること ⇒梱包箱をご確認ください

## 2. 据付前のお願い

- 高温(40℃以上)になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられない場合があります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

## 3. 各部のなまえと外形寸法図

- 各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください
- 外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください

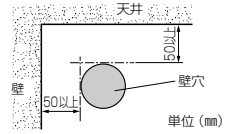
【付属部品】木ネジ……2本(浴室用はステンレス製)

## 4. 据付方法

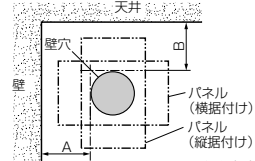
### 1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

- 据付場所を決めて壁穴をあける。
  - 右図の壁穴位置をご確認ください。
  - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)と厚肉(VP)管および銅板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
  - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



■V-08PWBD3の場合



パネル据付方向	A	B
横据付け	100以上	50以上
縦据付け	50以上	100以上

V-08PPWBD3の場合

- パネルの据付方向により、壁穴位置が異なります。

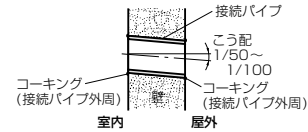
#### お願い

- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。

- 壁穴に接続パイプを確実に固定する。接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
  - 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
  - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
  - 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

#### お願い

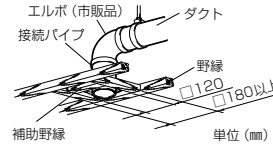
- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこ配をつけ、固定してください。



※接続パイプは壁面より室内側に出来ないようにしてください。

天井据付けの場合(野縁工事とダクト工事)

- 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。



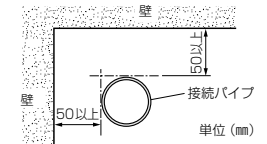
#### お願い

- 接続パイプが壁から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。

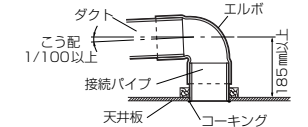
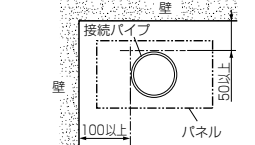
- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。
- エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。
- 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

#### お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこ配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



■V-08PPWBD3の場合



※接続パイプは天井面より室内側に出来ないようにしてください。

### 2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へ依頼ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
- ※浴室用機種は電気用品安全法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事不要です。

#### 警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

#### 注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

電源プラグタイプの場合

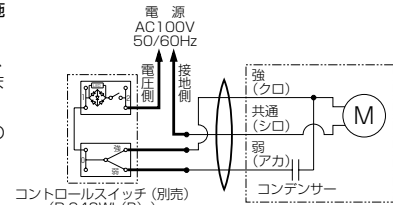
内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設ける。

電源コード直付タイプの場合

- 電線同士の接続を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源電線をはさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

結線図……太線部分を結線してください。

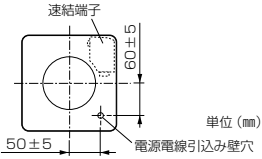
■V-08PPFL7の場合



コントロールスイッチ(別売)(P-04SWL(B)5)

**速結端子タイプの場合**

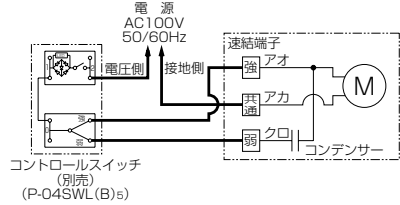
1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
  - 電源電線はVVF φ 1.6またはφ 2.0 2芯 (V-08PP(X) D7-AFはVVF φ 1.6 2芯、V-08PFLD7はVVF φ 1.6またはφ 2.0 3芯) をご使用ください。



単位 (mm)

結線図……太線部分を結線してください。

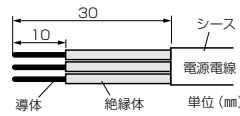
**■V-08PFLD7の場合**



コントロールスイッチ (別売) (P-04SWL(B)s)

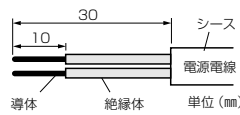
2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。
  - 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。

**■V-08PFLD7の場合**



単位 (mm)

**■上記以外の場合**



単位 (mm)

**3 本体の据付け (壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)**

1. 本体からグリルをはずす。

2. 結線をする。  
(電気工事は電気工事士の方が実施してください)

**電源コード直付タイプの場合**

電源コードと電源電線との接続は、電線に適合したリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具を用いて確実にカシメ接続して絶縁処理をします。

**速結端子タイプの場合**

- ①速結端子カバーを右図のように開ける。
- ②電源電線を速結端子に差し込む。
- ③速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。

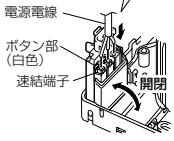
**お願い**

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部 (白色) を押しながら電源電線を引き抜いてください。

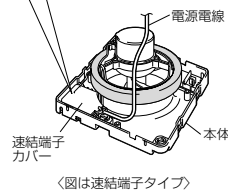
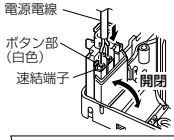
**■V-08PFLD7の場合**



結線図と上図の電源電線差し込み位置を確認し間違えないよう結線してください。



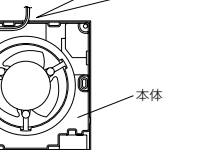
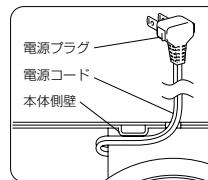
**■上記以外の場合**



〈図は速結端子タイプ〉

**電源プラグタイプの場合**

- 電源プラグを上から出す場合  
右図のように電源コードをかみ込まないように本体側壁に沿わせて配線してください。  
(V-08PM7, V-08PC7は除く)

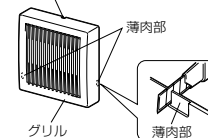


〈図は電源プラグタイプ〉

- 電源プラグを左右から出す場合  
グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。

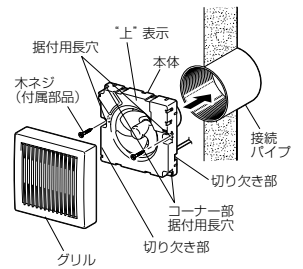
**お願い**

- 電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。



〈図は角形格子グリルタイプ〉

3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
  - 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
  - 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー据付用長穴をご使用ください。
  - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



〈図は角形格子グリルタイプ〉

**お願い**

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。

4. グリル (フレーム、パネル) を本体に据付ける。
  - グリル (フレーム、パネル) の方向を確認して、本体に据付ける。

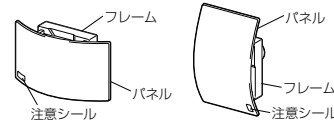
**V-08PWXD3の場合**

- 汚れ、傷つき防止のため、パネル (透明) の保護シートはお客様へ引渡す直前にはがしてください。

**V-08PWBD3でパネルの据付方向を変更する場合**

パネルのみ縦・横自在に据付けることができます。

横据付けの場合 縦据付けの場合



※横・縦据付とも下図の注意シール (赤色) が下側になるようパネルを据付けてください。

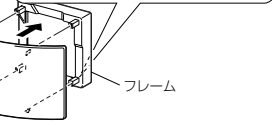
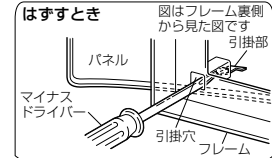


**パネルの据付け**

パネルの引掛部4か所すべてをフレームの引掛穴に軽く入れてから、まっすぐに押し込んで固定する。

**お願い**

- 天井据付けの場合は、パネルは横据付けの状態ですべてをフレームの引掛穴に軽く入れてから、まっすぐに押し込んで固定する。
- 引掛部が引掛穴に入っていない状態で無理に押し込むと引掛部破損の原因となります。
- パネル据付作業はフレームを本体からはずして行ってください。



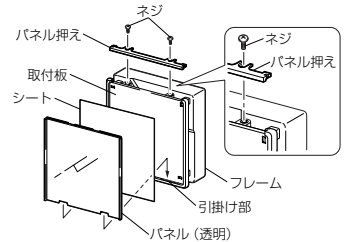
**パネルの取りはずし**

マイナスドライバーなどを使用して、フレーム裏側の引掛穴から引掛部を1か所ずつ (合計4か所) はずす。

**V-08PWXD3でパネル内部のシートを着せ替える場合**

パネル内部のシートを同梱のシート・お好みのクロスまたは写真などに着せ替えることで居室に調和します。

- ①ネジ2本をゆるめ、パネル押えを図のようにはずす。
- ②パネル (透明) をはずし、シートを取り出す。
- ③同梱のシートを差し替えるかクロス (□152~153mm) などをはさみ、図のように引掛け部を合わせてパネル (透明) で押さえ、パネル押え、ネジの順序で組立てる。



**お願い**

- 着せ替え作業は本体からフレームをはずした状態で行ってください。
- ネジの締めつけに電動工具などは使用しないでください。(手回しドライバーを使用して強く締めすぎないようにしてください) 強く締めるとパネル押えが変形するおそれがあります。
- シートは濡らさないでください。
- パネル (透明) にヒビ割れ・欠けなどがある場合はパネル (透明) は使用しないでください。
- パネル (透明) を無理に据付けしないでください。

5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリル (フレーム、パネル) が確実に据付けられているか確認する。

6. 試運転を行う。
  - 製品が運転・停止するかを確認してください。
  - (製品に電源スイッチを備え付けている機種は「入・切」の状態を確認してください)
  - 異常な音・振動などがなければ確認してください。

**V-08PP(X) D7-AFの場合**

- エアフロー環気システムとして使用する場合はコントローラユニット (P-01CND4) の据付説明書に従い試運転を行ってください。